

免疫チェックポイント阻害薬における免疫関連有害事象 看護ができることは何だろう？

— 知って学んで 一歩先の実践へ！ —

期間：2023年12月19日（火）～2024年1月31日（水）



がん免疫療法によって生じる免疫関連有害事象（immune-related adverse event：以下、irAE）の重症化を防ぐためには、早期に発見して治療を開始する必要があり、看護師にもirAEやその対応の理解が求められます。看護として共に、一歩先の実践へつなげてみませんか？

看護師のみなさん このように感じることはありませんか？

最近がん免疫療法を受ける患者さんを看護することが多い
難しいことを言われてもピンとこない
今までのやり方で大丈夫かな？

今回のセミナーを活用して一歩先の実践を共に目指しましょう！

期間中、お手持ちのパソコン、スマートフォンにて、以下のURLもしくはQRコードへアクセスし、視聴してください。

https://www.ncc.go.jp/jp/ncce/info/professional_semminer/2023/nursingseminar2023/index.html



プログラム どの内容からもご覧になれます。

1. 医師：中島 裕理 総合内科・腫瘍内科・先端医療科
テーマ：多職種の間でirAEを見逃さない！ irAEの勘どころ
2. 薬剤師：岩本 義弘 薬剤部
テーマ：irAEセミナー 薬剤師から看護師へお伝えしたいこと
～国立がん研究センター東病院の取り組みを踏まえ～
3. 看護師：伊藤 直美 がん薬物療法看護認定看護師
テーマ：免疫チェックポイント阻害薬における免疫関連有害事象
～看護にできることは何だろう？～外来治療での取り組み
4. 看護師：丸田 章子 がん化学療法看護認定看護師
テーマ：免疫関連有害事象に対する病棟看護師の役割

無料 テキスト、受講証の配布はございません。

視聴後アンケートにご協力ください。

次年度以降の開催のための参考にさせていただきます。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScIwWB0CIDKWO4_U6nb302dBTyv3e4bFSA975hmmfE6Riw-5w/viewform

事後アンケート
QRコード



お問合せ

国立がん研究センター東病院看護部
〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1

電話：04-7133-1111（代表） 副看護部長 近藤 美紀（内線91148）